

物資番号 XXVII—全
單位 K.W.
年次 昭和十一年

1936 中南支電力需給調査 (水カ火カニ分類セズ、ソレニ付テハ後記ス)

省 別	事業者数	發電設備容量 KW	全国=対スル割合	發電量 KWH	全国=対スル割合	人口一人当 電氣消費量 KWH	需要戸数/營業区 内戸数=対スル比率
中南支八省合計	367	437,994	80.7	1,484,814,000	88.0		
江 蘇	118	296,604	55	1,179,323,000	70.0	30.0	16
浙 江	117	32,835	6	46,765,000	2.8	2.3	11
安 徽	28	4,923	1	8,116,000	0.4	0.4	10
江 西	11	2,298	0.4	5,016,000	0.3	0.3	10
湖 北	19	26,354	5	65,880,000	3.9	2.7	10
湖 南	10	6,958	1	15,643,000	0.9	0.5	11
福 建	21	11,216	2	22,503,000	1.3	2.5	12
廣 東	43	56,806	10.5	141,588,000	8.4	4.3	24
合 計							
河 南	5	1,436	0.3	2,218,000	—	0.09	4
參 四 川	24	5,611	1	4,712,000	0.3	0.2	11
廣 西	10	2,291	0.4	4,503,000	0.3	0.4	15
考 雲 南	3	1,853	0.3	4,160,000	0.2	0.4	3
貴 州	1	150		377,000	—	0.05	3

1934年建設委員会資料ニヨル

1935年建設委員会資料ニヨル

備考. 支那電氣事業ハ極メテ古クヨリ発達シ、永キ歴史ヲ有スルニモ拘ラズ、現勢ハ半殖民地地圖ニトツテ典型的テアル様ニ甚カク他イ水準ニ停滞シテオル。支那ニ於ケル電氣事業者總數中支那側民營ニ屬スルモノハ全体ノ90%ヲ占ムル總計多數テアルガ、ソノ發電設備容量ハ僅カニ35%ニ過ぎナイ。之ニ対シテ外國資本經營ノモノハ、ソノ數ニ於テ僅ニ六社ニ過ぎナイガ、發電設備容量ニ於テ50%ニ上リ、中外合併ノモノヲ合セバ60%ヲ超ユル過半数ヲ占メテキルコトニヨリ、規模組織ニ於テ如何ニ外國資本カ圧倒的勢力ヲ保持シテキルカニ窺ハレル。

次ニ支那民間電氣事業ノ發電所ノ大部分ハ電燈用ノ電カヲ供給スルタメ、設備ハ極メテ小規模ノモノガ多イ。

全支ニ於ケル電氣ノ普及状況ヲ見ルト江蘇、広東、湖北、福建ト沿岸諸省カ相對的ニ優レテキル。

電カノ分布状況ハ江蘇省カ設備容量ニ於テ55%、發電量ニ於テ70%、広東省カ設備容量ニ於テ10%、發電量ニ於テ8.4%ヲ占メ、非常ニ優勢ニアルコトハ、經濟勢力カ非常ニ影響シ、如何ニ支那カ重要都市、ニニ偏在シテキルカヲ裏書シテ居ル。ヨツテ中南支主要都市ノ電氣状況ヲ見ルト次表ノ如シ。

(電力・二)

地名	会社名	資本系統	営業種目	営業地域	発電設備容量 KW	最高負荷 KW	発電量 KWH	購入電量 KWH	負荷率	他事業者との関係	調査年度
上海	上海電力公司	米	電気	共同租界	183,500	146,797	812,507	0	63.0	南北運西水電へ売電ス	1936
	法商電車電燈公司	佛	電気水道電車	租界	30,320	16,200	47,649	6,170	38.9	華商電気へ売電ス	1934
	南北水電公司	支	電気水道	南北地方	34,500	20,200	96,129	34,946	54.1	上海電力ヨリ受電、華商、華東、真茹電気へ売電ス	1936
	華商水電公司	支	電気	南市	16,000	18,750	60,822	15,305	46.1	南北法商ヨリ受電、浦東へ売電ス	"
	滄東電氣公司	支	"	浦東	600	3,900	2,311	14,688	50.5	上海華商南北ヨリ受電	"
	翔華電氣公司	支	"	南北一部	0	1,669	0	7,121	48.6	上海電力ヨリ受電	"
	滄西電氣公司	米支	"	共同租界西部	0	24,630	0	148,940	69.0	"	"
	真茹電氣公司	支	"	真茹方面	0	-	0	298	-	南北水電ヨリ受電	"
南京	建設部委員会首都電廠	國營	"	南京附近	12,500	10,000	31,902	0	35.3	"	"
蕪湖	戚野堰電廠	國營	"	蕪湖蕭家	17,100	10,200	40,380	0	54.0	"	"
蕪湖	明遠電氣公司	支	"	蕪湖	2,410	1,380	3,553	0	29.4	"	1935
鎮江	大眼電氣公司	支	"	鎮江	5,950	3,300	8,697	0	34.0	"	1936
常州	武進電氣廠	支	"	常州	3,900	1,600	5,703	31	40.9	戚野堰ヨリ買電ス	"
蘇州	蘇州電氣公司	支	"	蘇州	12,900	5,600	16,352	0	-	"	"
杭州	杭州電氣公司	支	"	杭州	20,520	8,437	29,170	0	-	"	"
漢口	既濟水電公司	支	電気水道	漢口	16,500	16,120	53,419				1935
	漢口電燈電力公司	英	電気	旧英租界	5,200	2,405	5,274		25.0		"
	漢口居留民團電氣部	日	"	日租界	505		455				1936
	美最時洋行電廠	独	"	旧独租界	820	361	1,053		33.1		"
武昌	意民電燈公司	國營	"	武昌	1,600	2,010	3,355	595	22.4		"
福州	福州電氣股份有限公司	支	"	福州	5,500	3,400	9,944		33.5		"
廣東	廣州市電氣管理部	國營	"	廣東	22,000	21,250	86,177		46.0		1935

支那ニ於ケル水力発電設備ハ 2,210 KW (全國1%) 発電量 4,874,000 KWH テ云フニ足ラナイ量ナル。支那ニ於テ斯クノ如ク水力開發カ行ハレナイ理由ハ、水力資源ニ至シイカラテハナリ、資金關係ト需要消化ノ難並ニ水力地点カ稍奥地ニ偏シテナル理由等カラナル。支那天賦ノ水力資源ハ約ニ十萬馬カト云ハレテナル。ソノ多クハ南支殊ニ雲南、四川、福建、広西、貴州等、奥地ニ偏シ、需要ノ中心地カラ遠ガカツテキルコトカ水力利用ノ大キナ缺陷トサレテナル。

昭和十四年(1939) 中南支電力需供調査

(電力3)

電廠名	発電量 KWH	最大負荷 KW	平均負荷 KW	電燈使用戸数	電力使用戸数	馬力数
上海北部	7,333,330	13,270	8,170	12,328	575	21,296
蘇州(推定)	1,981,130	4,200	2,480	13,546	498	2,064
常州第一	1,915,800	5,010	2,450	4,512	139	6,469
常州第二	400,740	1,310	690			
鎮江	646,070	1,530	760	6,201	78	1,661
南京	4,895,320	10,400	5,980	9,613	233	8,232
蕪湖	361,610	740	354	2,102	12	732
安慶	49,980	220	157	295	-	-
九江	84,310	283	187	591	9	30
廬山	2,440	21	16	-	-	-
漢口	2,702,250	5,100	3,420	1,648	70	822
九江	14,290	107	62	487	-	-
嘉興	59,740	248	135	1,272	-	-
杭州	907,270	1,810	1,190	13,260	815	3,021
揚州	215,200	800	420	-	-	-
合計	19,585,350			8,491	499	6,111
京錫						

昭和14年度全部ニ対シテハ
戦火未タ甚カラス。治安等ノ
關係モアリ、正確ノ資料ナシ。
此ノ表ハ昭和十五年一月申
ノ実績ナリ。依ツテ此ノ表ニ
ヨリテ適當ニ推察サレタリ。

南支ニツキテハ全然不明ナリ。

以上ハ日本軍占領地区内ニアルシ華人並ニ日人ノ電氣廠ヲ華中水電カ各任經營ヲナシテナル實際ナリ。

第三國系ニツイテハ未タ何レノ工廠モ公然ト發表シテモハナシ。但シ大体ノ數字ヲエケレバ。

会社名	発電設備 KW	発電容量 KWH	購入電量 KWH	最大負荷 KW	負荷率	調査年
上海電力	183,500	594,621,399		不詳		1938
法商電報電燈	30,320	不詳	不詳			1939
滬西電氣	ナシ		539,793			1938
漢口電燈	5,780	* 16,000		2,000	33%	1939

* 一日発電量

戦火ハワル工場ヲ破壊損害ヲナサセタ。荒廢セル戦区ノ社会的經濟再建ニハ先ツ公益事業ノ回復ガ先決向頭トサレ、公益事業ノ復活ニハ日支合併
会社ヲ設立シ、支那ノ既存現物資産、日本ノ技術ニヨリナサントシテ電氣事業ニハ華中水電会社ヲ設立シタ。但シ戦火マ、遠サカクタイハ、治安不安
定、タメ思フ様ニハ發展セス、重要都市ノ復活ヲアシテナル状態ナリ。

國民黨管理下ノ電氣事業ハ、火力ハ工廠、水力ハ四工廠ト云ハレテナル。

疏

安

硫安需給表(其ノ一)

物資番号 XXX—全	單位 噸	年次 昭和十一年		地場消費	出廻可能	輸 出		輸 入		輸出總量中 対日輸出量	輸入總量中 対日輸入量
		生産能力	生産量			数	價 額(元)	数	價 額(千圓)		
中南支八省合計		50,000	50,000	147,818	(A)	0.1	8	97,818	5,291,911	-	14,723 (14.6%)
○江 蘇		50,000	50,000	(A)		0.1	8	21,203	993,977	-	1,269
○浙 江		/	/	/	/	/	/	-	-	/	-
○安 徽		/	/	/	/	/	/	-	-	/	-
江 西		/	/	/	/	/	/	-	-	/	-
○湖 北		/	/	/	/	/	/	200	8,638	/	-
湖 南		/	/	/	/	/	/	-	-	/	-
福 建		/	/	/	/	/	/	33,076	1,880,561	/	7,214
○廣 東		/	/	/	/	/	/	43,337	2,408,235	/	5,840
合 計		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
多 省 考	河 南	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	四 川	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	廣 西	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	雲 南	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
貴 州	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

備考 1. (A) 及び (A') 印ノ地場消費、出廻可能、輸送能力ニツイテハ全然数字的ニハ算出スルコトハ不可能ナリ。合計数字ハ生産量+輸入量トス。

2. 中南支ニ於ケル硫安ノ生産工場トシテハ年産五万吨、生産能力ヲ有スル永利化学公司硫安廠唯一トシ、農業団支那ハ大部分輸入ニヨリ補給シテ居ル。ソノ輸入國別ニ見ルト、独 5.2%、英 15%、日 14% テ硫安ノ取扱ニ関シテハ英独兩國ニ完全ニ支配サレテ居ルノ状態ヲ、主要區域ニ特約店ヲ設ケ、ソレヲ通ジテ農民ニ売捌イテ居タ。

各省別ノ消費量ハ概数ニ知ルコトハ得ナイガ浙江省ガ第一ノ消費地デアリ、江蘇、安徽、広東トイフ順序デアック。

上表ニヨリ中南支ノ肥料状況ヲ見ルト、中南支農村トシテハ余リニマ僅少過キル。

硫安需給表 (頁) 三)

地 域	生産能力	生産量	地場消費	岩廻可能	輸 出		輸 入		輸出總量中 対日輸出量	輸入總量中 対日輸入量
					数	價 額	数	價 額		
中南支八省合計	50,000	6,000	83,524	(B)			(A)	77,524	(A) 6,036,181	25
○ 江 蘇	50,000	6,000	(B)	-				6,953	466,790	-
○ 浙 江								1,010	56,990	-
○ 安 徽								-	-	-
○ 江 西								-	-	-
○ 湖 北								-	-	-
○ 湖 南								-	-	-
○ 福 建								20,128	1,700,195	25
○ 廣 東								49,443	3,812,401	-
合 計										
参 考	河 南							-	-	
	四 川							-	-	
	廣 西							-	-	
	雲 南							0	11	
	貴 州							-	-	

備考 1. (A) 印ノ貿易統計ハ昭和十三年ナリ

2. (B) 印ノ地場消費及ビ岩廻り事情ニ依リテハ、数字ノ推定ハ不能ナリ。

生産量+輸入量ヲ以テ消費量ト推定ス。

3. 敵火ノ平定ト共ニ農家モ復活シテ農事ニ従事スル状態ニナリ需母モ増

加シタ。 旧永利工業公司皖安廠トシテ事変前南京六合卸甲ニアリシ工廠ハ

永利化学工業株式会社ト改名シ、旧合併資本金一千万圓ニテ昭和十四年十月竣工シ

十一月ヨリ製造ヲ開始シテキル。故ニ昭和十四年度ノ生産トシテハ僅ニ六千噸

ニシカ過ぎス。其ノ中3,500噸ヲ南支ニ供給シテキル。(昭和十四年度五万吨生産ノ予定)

昭和十三年度ノ輸入額ハ依然トシテ独(3万吨)英(3万吨)兩國ヨリ輸入セラレテキル。

4. 永利化学工業株式会社ノ南支進出ハ、確固タル地位ヲ持ツ独英ト対主上、或ハ沿岸、不安等

ニヨリ南支ハ日貨ニ対シ需母率モ高ク採算上有利ナルタメニ当然ノ事態トス。

5. 上表貿易統計ヲ見レトキニ中支ガ非常ニ輸入、少ナキ事カ目ニツクガ、昭和十三年ノ統計ニ於テハ

中支ハ既ニ敵火ニ荒サレテキタメニ需母ガナク、南支ハ海上封鎖アリトイヘト日近ハ敵火ナリ。

農村ハ平和テアツタメニ需母ガ大キカッタト云ヒ得ル。

6. 昭和十四年度上海港輸入状況 (1月~9月)

全数量 31,838.2 全價額 1,418,504

対日数量 99.3 対日價額 3,714



池V92

172

2017







